

介護報酬へのアウトカム評価導入 についての要望

平成29年9月

介護サービス質の評価先行自治体検討協議会

介護報酬へのアウトカム評価導入についての要望

介護保険制度は、介護を必要とする人が尊厳を保持し、自立した日常生活を営むことができるようにするという理念に基づき平成12年に創設された。平成18年には、明るく活力ある超高齢社会を目指し、要介護状態等となることの予防または改善を重視する改正が行われ、近年では、平均寿命よりも健康寿命について注目されている。

一方、要介護認定率が高くなる75歳以上人口の急速な増加に伴い、介護給付費も制度発足当時と比較して3倍に増大し、介護保険制度の持続可能性の確保が問題となっている。

このような情勢のなか、要介護者等の「自立」を目指して介護事業所にアウトカム評価を導入した自治体では、要介護者等の状態像や要介護度が改善するとともに、介護給付費の減額効果等が確認されている。

これらの効果は、介護事業所の状態改善に向けた努力によるものであるが、一方で介護報酬制度の仕組み等を背景として、「自立」への意識が希薄な介護事業所もある。「自立」を促すためには、アウトカム評価を各自治体の独自事業に留まらせるのではなく、介護報酬に導入し、介護保険制度を要介護者等の状態改善に向けたものにしていくことが重要である。

アウトカム評価を導入する手法としては、報酬体系の抜本見直しも考えられるが、介護の手に応じた報酬となっている現制度とその意義を考えれば、加算によるアウトカム評価の導入が現実的である。アウトカム評価の導入や指標の選定については、クリームスキミングの懸念など多くの議論があるが、プロセス評価を前提としたアウトカム評価とすることでその懸念を抑えることができる。

要介護者等の「自立」を推進するため、介護報酬への適正なアウトカム評価導入を実現していただきたい。

平成29年9月

介護サービス質の評価先行自治体検討協議会

品川区 江戸川区
川崎市 福井県
名古屋市 滋賀県
岡山市

(参考)

「介護サービス質の評価先行自治体検討協議会」について

○成立ち

介護サービス質の評価先行自治体検討協議会は、平成 27 年の夏頃に岡山市が各自治体に働きかけを行い、立ち上げたもの。

○協議会の目的

利用者の状態が維持・改善した場合に介護サービス事業者へインセンティブ付与を実施している自治体の取組状況に関する情報を共有。

持続可能な介護保険制度に向けた政策提言を行う。

○協議会の構成員

品川区、江戸川区、川崎市、福井県、名古屋市、滋賀県、岡山市

(並びは自治体コード順)

○過去開催

- ・ 第 1 回協議会（岡山市）
日時：平成 27 年 11 月 13 日（金）
内容：各自治体における取組状況に関する情報の共有
- ・ 第 2 回協議会（品川区）
日時：平成 28 年 8 月 5 日（金）
内容：厚労省、有識者と意見交換
政策提言の素案協議
- ・ 第 3 回協議会（岡山市）
日時：平成 28 年 10 月 20 日（木）
内容：政策提言の協議、確定
- ・ 第 4 回協議会（岡山市）
日時：平成 29 年 8 月 1 日（火）
内容：要望書の協議、確定

